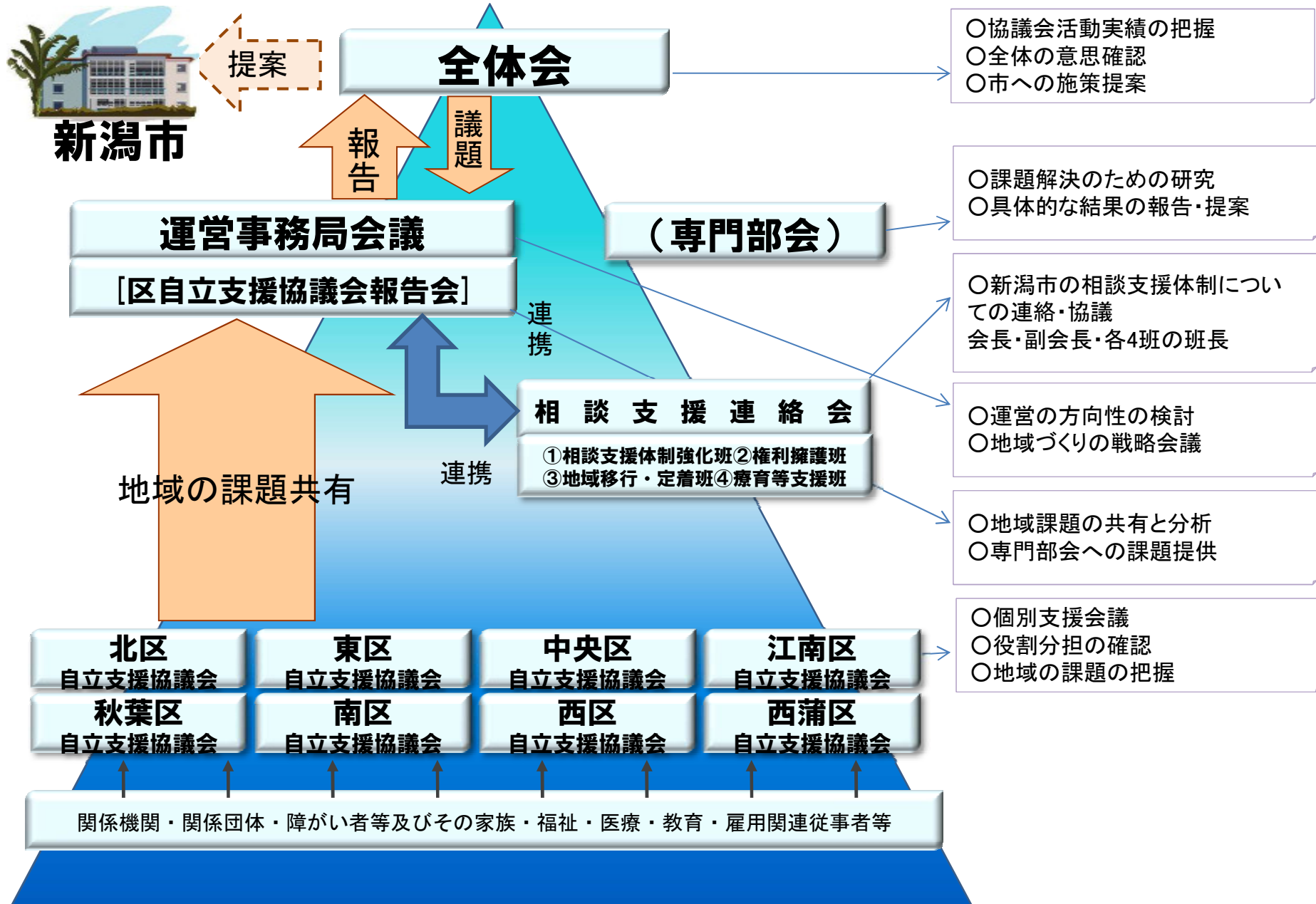


新潟市障がい者地域自立支援協議会 組織図



- 協議会活動実績の把握
- 全体の意思確認
- 市への施策提案

- 課題解決のための研究
- 具体的な結果の報告・提案

- 新潟市の相談支援体制についての連絡・協議
- 会長・副会長・各4班の班長

- 運営の方向性の検討
- 地域づくりの戦略会議

- 地域課題の共有と分析
- 専門部会への課題提供

- 個別支援会議
- 役割分担の確認
- 地域の課題の把握

①相談支援体制強化班

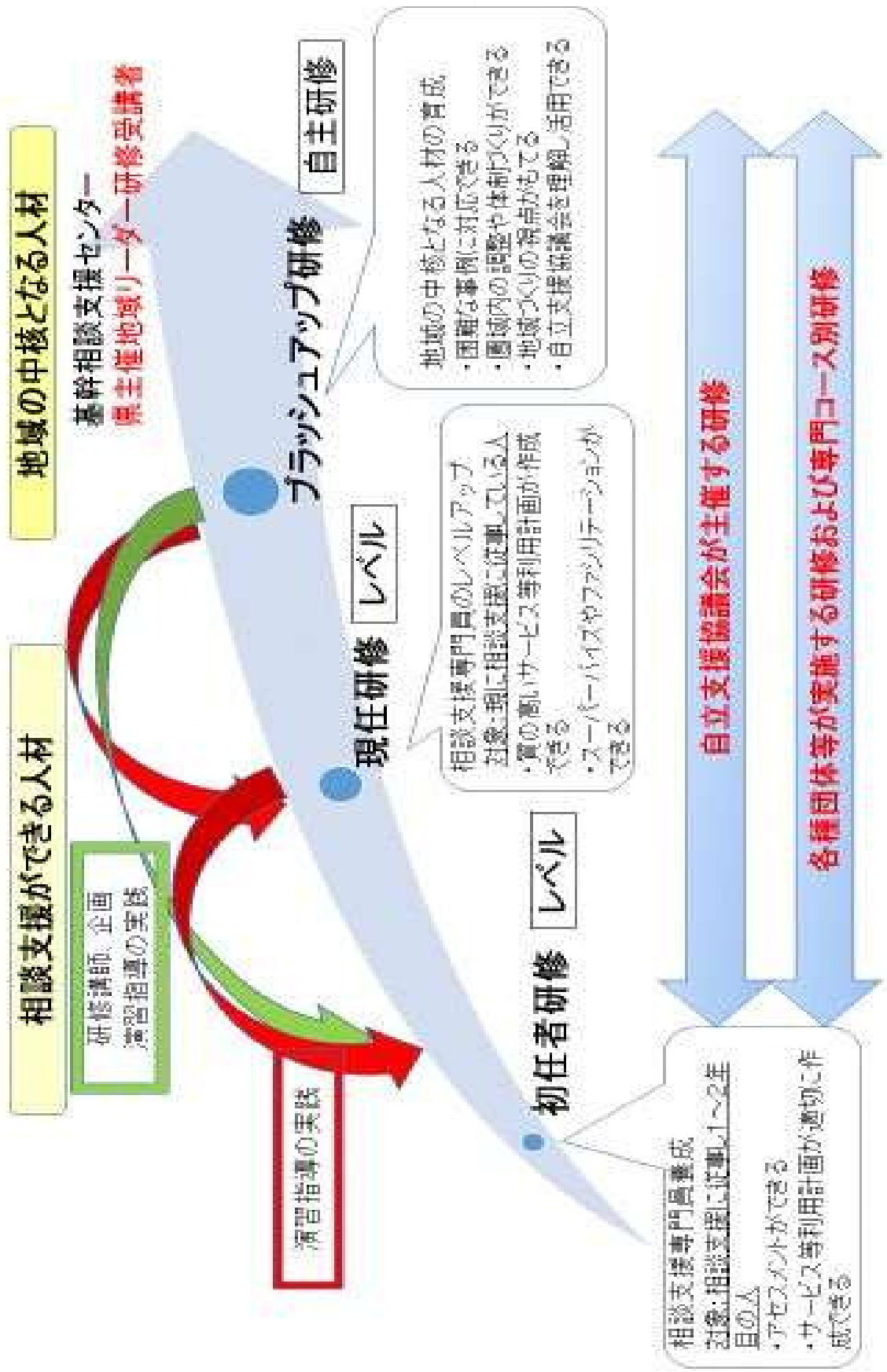
課題	①計画相談支援事業所の整備（南区・江南区に1事業所）											
活動目標	身近な地域で相談でき、課題解決できる地域の体制整備を目指す											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				相談支援事業所体制調査	相談支援事業所体制調査	報酬改定・新潟市相	法人向け研修	相談支援事業所体制調査				相談支援事業所調査
メンバー構成	まんにち：関川相談支援専門員 江南区障がい福祉係：小柳係長 わ〜らく：本井相談支援専門員 基幹秋葉：荒木 ゆとりあ：鈴木相談支援専門員 基幹東：齋藤 基幹西：貝沼											

課題	②人材育成（新潟市人材育成ビジョン：図の作成）											
活動目標	質の高い相談支援の人材育成を目指す											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		人材育成ビジョン（案）			相談支援連絡会で			自立支援協議会で				班会議
メンバー構成	まんにち：関川相談支援専門員 江南区障がい福祉係：小柳係長 わ〜らく：本井相談支援専門員 基幹秋葉：荒木 ゆとりあ：鈴木相談支援専門員 基幹東：齋藤 基幹西：貝沼											

課題	②人材育成（計画相談員研修）											
活動目標	質の高い相談支援の人材育成を目指す											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	研修企画打ち合わせ	班会議：役割分担	受講者決定	研修会案内発送	（現任者向け研修前期13日）	班会議	班会議 / ファシリタ	班会議 / ファシリタ	（現任者向け研修同日開催）			班会議
メンバー構成	まんにち：関川相談支援専門員 江南区障がい福祉係：小柳係長 わ～らく：本井相談支援専門員 基幹秋葉：荒木 基幹東：齋藤 ゆとりあ：鈴木相談支援専門員 基幹西：貝沼											

課題	②人材育成(基幹研修会)											
活動目標	質の高い相談支援の人材育成を目指す											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				相談支援体制強化班研	（基幹の機能・役割）		（成年後見制度申立）		地域移行地域定着班研			療育班会議にて報告班研
メンバー構成	基幹秋葉：荒木 基幹東：齋藤 基幹西：貝沼											


新潟市の相談支援事業における人材育成ビジョン




②権利擁護班

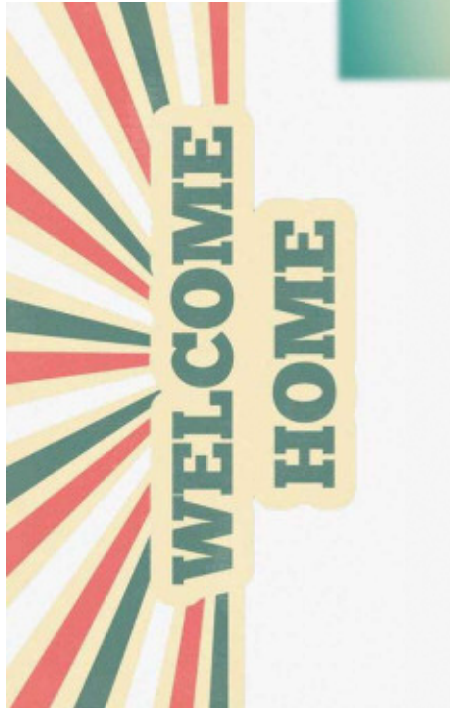
課題	①今年度は、障がい者虐待対応を中心に取り組む（高齢者虐待対応現状に比して課題あり？）											
活動目標	誰もが粛々と法律に則った虐待対応が出来る様、現行システムを検証・改善提案を作成											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			6/13 班立 上げに 向けた 準備 会議	⇒虐待対応 フロー再確 認、コアメン バー会議のあ り方検討。 ・虐待防止 ネットワーク会 議の設置の 是非⇒次回 までに確認 ⇒高齢者虐 待対応につい ての各区のし くみを確認。 障がい者虐 待対応各区 実態を基幹	8/29 第1回 会議			11/2 8第2 回会 議			2/27 第3回 会議	
メンバー構成	・班長：高橋 直己（しなのがわ総合法律事務所） ・副班長：杉山 貴則（基幹秋葉） ・近山 理子（地域包括支援センター岩室） ・伊藤 裕美（市虐待防止専門員） ・山田 斉（西区） ・山田 恵（基幹中央） ・竹田 一光（基幹西）											

③地域移行・定着班

課題	病院に掲示されている地域移行のポスターが古い											
活動目標	今年度中に、ポスターをリニューアルする（原案だけでも作りたい）											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				第1回 班会議 開催	12月までに 							
メンバー構成	・訪問看護ステーションめぐみ：和気 ・新潟信愛病院：永峯 ・白根緑ヶ丘病院：寺尾 ・ふらっと：二宮 ・北区：樺沢 ・こころの健康センター：富樫 ・基幹西：丸山 ・基幹中央：志賀											

課題	各病院が地域移行についてどのような考えをもっているのかわからない											
活動目標	アンケートを通して病院訪問を行う（病院側のニーズ調査） →次年度以降定期的な連絡会を開催できれば良い											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				第1回 班会議 開催	12月までに アンケート送付 						1月以降 アンケートを元に病院まわり	
メンバー構成	・訪問看護ステーションめぐみ：和気 ・新潟信愛病院：永峯 ・白根緑ヶ丘病院：寺尾 ・ふらっと：二宮 ・北区：樺沢 ・こころの健康センター：富樫 ・基幹西：丸山 ・基幹中央：志賀											

すでに行っている「新潟市精神障がい者の地域生活を考える関係機関連絡会」を元に地域移行・地域定着班を構成。「新潟市精神障がい者の地域生活を考える関係機関連絡会開催時に地域移行・地域定着班の会議を開催していく。今年度初回は7月末頃の予定。その後の班会議はその都度必要に応じて開催していく。



地域移行・地域定着班



【病院のスタッフや患者さん、ご家族に地域移行（退院促進）を知ってもらいたい】

なかなか社会へ入院の準備ができていないのではないだろうか

- ・退院促進チームはひとりで頑張る
- ・地域移行のサービスが実施されたのと新崎市が政令都市になったタイミングで退院促進として叩きこられた
- ・地域移行の開始に「退院促進」で活動している人（病院スタッフ、家族、本人、事業所、行政）とほとんど関係ない

- ・病院に退院促進事業のポスターが貼ってあり、相談先が分からずとあさひの家になっている。
- ・地域移行を行っている相談支援事業所が増えない。
- ・退院先が地域といっても高齢施設などが増えている



現状と課題

＜地域移行支援事業サービス＞

- ・実際どう活用すればいいかわからない
- ・具体的支援内容などがわからない
- ・どんな人が対象になるかわからない
- ・期間が決まっていて利用しづらい
- ・事業士のせるまでが長い（申請、病院スタッフへの説明、事業所への依頼、調整...）
- ・事業のイメージが暗い（患者、家族、病院スタッフが...）
- ・実際、どれくらいの件数があるのだろうか、事業所はどれだけあるのだろうか

【ピアサポーターを退院促進で活用したい】

ピアサポーターが患者さんに退院を働きかけるような事業をしているのだが、新潟市でできないだろうか。

- ・退院促進事業のときピアサポーター養成をして退院促進に取り組んでいた
- ・養成はなされたものの効果が上がっていない
- ・養成はなされたものの効果が上がっていない
- ・養成場所があるにもかかわらずピアサポーターにならない
- ・ピアススタッフにお金を出すシステムができていない

- ・新潟市ではピアサポーターがいる事業所にお預かりして講座等でもリソースを回している。ローテーションでお預かりして、毎回回しメンバーに回す。
- ・事業所によりなっていて、事業所が意識高い系でないとなかなか取組めない。
- ・同部さんところ（東京）がピアスタッフ雇っているみたい。



現状と課題

＜ピアサポーター＞

- ・ピアサポーターになるための方法がわからない（研修があるのか、賞状？、要件？）
- ・将来的にはピアサポーターによる退院支援の取組みが必要と思うが、現状では難しい
- ・ピアサポーターに興味をもつ人がいればよいことあるかもしれない
- ・ピアサポーターの活動はどのようなものがあるのか



【本人の退院意欲をあげる】

「暮らし」になっている入院から地域に戻って生活をしようとする決心の支えをする

- ・60年以上も入院されている人がある
- ・退院後の生活が想像できていない
- ・退院後の生活が想像できていない
- ・家族が代替わりがしており、家族の理解が得られない

- ・無病状状態
- ・住み慣れた場所（入院であろうが）から飛び出す一歩はとても勇気がいる
- ・以前の退院促進の対応者と現在の長期入院の対応者は違うのではないだろうか
- ・家族の負担が軽減されれば理解を得ることも少し容易になるのでは...



現状と課題

＜その他＞

- ・本人の退院意欲が低下している
- ・家族に理解を得ることがむずかしい
- ・退院に希望をもちたいことができる「地域」づくりが必要
- ・退院支援を行うにあたって病院内での連絡調整が難しい
- ・障がいサービスと介護保険の連携の退院支援が難しい
- ・長期入院患者の退院後の受け入れ先が高齢施設がほとんど
- ・退院後の地域の受け入れ先がない

平成30年度 新潟市障がい者自立支援協議会 相談支援連絡会年間計画

④療育等支援班

課題	①重症心身障がい児や医療ケアが必要な障がい児者のより身近な地域で利用できる福祉サービスの充実について											
活動目標	重症心身障がい児や医療ケアが必要な障がい児者の現状が多くの人に共有できる											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月 第1回 9/26	10月	11月	12月	1月 第2回 (予定)	2月	3月
							全体会で報告	社会資源マップ作り 人数調査 卒業後の進路調査			まとめ	全体会で報告
メンバー構成	すてっぷさぽーと 野崎氏・トゥインクル 古川氏・コスモス 小畑氏・西新潟中央病院 療育指導室 平山氏・県立東新潟特別支援学校 大森氏・はまぐみ特別支援学校 井口氏・基幹相談支援センター 大橋・川村・杵鞭・伊藤（既存の重症心身障がい支援ネットワークにいがたで行えるか検討中）											

課題	②新潟市の療育等支援事業のあり方について											
活動目標	各区の療育支援の地域診断をする											
活動計画	4月	5月	6月 第1回 6/12	7月 第2回 7/24	8月 第3回 8/22	9月	10月	11月	12月 第4回	1月 第5回	2月 第6回	3月
				地域診断 共通シート作り 依頼先選定		地域診断 調査実施 10月：全体会で報告			回収 まとめ	現状と課題の 整理 ↓ 活動計画の作成		全体会で報告
						研修内容検討						
						研修（日程未定） 対象：障がい児相談支援事業所 内容：放デイでの療育支援について・GWで障がい児利用計画の作成等						
メンバー構成	JOIN 高橋氏・きらきら 川村氏・こころん 松浦氏・東区役所健康福祉課 羽田氏・障がい福祉課・基幹相談支援センター 大橋・川村・杵鞭・伊藤											